

令和4年度 中央公民館地域フォーラム議事録

日 程	令和4年10月21日（金）13：30～15：00
場 所	中央公民館 2階 第1学習室
参加者	<ul style="list-style-type: none"> ・中央地域包括支援センター センター長 高橋 聡 ・中央公民館百寿大学運営協議会 委員長 池林 忠雄 ・朝日地区市民委員会 会長 太田 英司 ・朝日地区民生委員児童委員協議会 会長 岡部 千秋 ・朝日地区社会福祉協議会 会長 山岡 好子 ・中央公民館百寿大学運営協議会 副委員長 坂牛 光子 ・中央公民館百寿大学運営協議会 副委員長 宮川 勝 ・朝日地区市民委員会 女性部長 高木 美江子 ・朝日地域食堂ひまわり 代表 村谷 美鈴 ・朝日地区民生委員児童委員 プルメリア代表 素野 香織 ・中央公民館サークル団体連絡協議会 会長 目黒 匡 <p>（公民館）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中央公民館長 伊藤 敦子 ・中央公民館専門指導員 岡崎 良昭
次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 公民館からの報告 <ol style="list-style-type: none"> （1）中央公民館施設利用状況について （2）中央公民館事業活動状況について （3）中央公民館利用者アンケート結果について 3 公民館事業活動への意見交換 4 その他 5 閉会
1 開 会	
	<ul style="list-style-type: none"> ・本日の流れの説明 ・出席者及び職員の紹介
2 公民館からの報告	
	<ol style="list-style-type: none"> （1）中央公民館施設利用状況について <ul style="list-style-type: none"> ○ 令和3年度の公民館利用者数、新型コロナ拡大の影響、感染予防策について説明。 ・年間利用人数は前年度比201人増。大成市民センター改修工事の影響でサークル数等が増加したのが要因と思われる。 ・公民館全体の利用者数は前年比51,686人減。 ・令和3年度は感染拡大防止のため、合計74日間の臨時休館となり、公民館事業も延期や中止が多くあった。 （2）中央公民館事業活動状況について <ul style="list-style-type: none"> ○ 令和4年10月現在までの事業実績を説明。

- ・感染者数が落ち着いた時期頃から徐々に各事業の参加者も増えているもよう。
- ・各事業のうち、家庭教育支援は平日午前に、青少年教育は学校の長期休業中に開催。
- ・成人学習は、講師の都合もあり平日日中の開催が多いため、参加する年齢層は比較的高い傾向にある。
- ・週末開催の一部事業には比較的若い年代も参加。
- ・高齢者学習の主である百寿大学は、今年度3年振りに年間通じて開催できる見込み。
- ・但し、朝日小との世代間交流や赤い羽根募金活動など、一部は感染防止のため中止とした。

(3) 中央公民館利用者アンケート結果について

- 毎年7月に実施しているアンケートの集約状況を説明。
 - ・回答者の多くは利用者の大方を占める生涯学習活動団体の会員。
 - ・施設面、職員の対応、公民館の情報発信の状況等はいずれも「良い」「おおむね良い」の回答がほとんど。
 - ・要望事項で多かったのは、エアコンの設置、駐車場の拡大、トイレのウォシュレット設置などである。
 - ・予算措置を伴うものについては必要な経費の予算要望をしているが、当館以外の公民館も設備面では同様の状況にある所が多く、予算確保は難しい。
 - ・駐車場の面積拡大は環境的に難しいが、効率よく駐車できるようラインを引くようにした。
 - ・職員の対応については「良い」「おおむね良い」がほとんど。今後も親しみやすい対応に努める。
 - ・公民館の情報発信等についても「良い」「おおむね良い」が多数。
 - ・期限切れのポスターを見かけたとの意見があったことから、開催期日等を確認して旬な情報をお伝えできるようにする。
 - ・公民館の講座には参加したことがないとの回答が多かった。
 - ・これは回答者のほとんどが登録団体の会員であり、来館目的がサークル活動であるためと思われる。
 - ・しかし、活動の前後に玄関横の講座の告知を見て申し込む会員もおり、館内掲示の効果を感じている。
 - ・講座参加者からは内容が役に立ったと回答が多く、今後も暮らしに役立つ内容を提供していきたいと考えている。

<p>地域食堂 ひまわり</p> <p>百寿大学</p> <p>子育てサロン プルメリア</p> <p>中央地域包括 支援センター</p> <p>朝日地区社会 福祉協議会</p> <p>中央公民館 サークル団体 連絡協議会</p>	<p>○ 意見等の発言は特になかったため、当館と共催で実施している事業について各代表から発言いただいた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍のため従来の形での開催はできない中、「とにかく何かをしなければ」との思いで、初の試みとして「ろうそく出せ」で地区内の拠点を回る形式で実施。 ・3箇所の拠点で子どもたちにお菓子やおもちゃを配ったが、資金はこれまで頂いた寄附で賄った。 ・今後も資金がある限り何らかの形で続けていきたいと思っているが、その際は中央公民館を地域の核となる拠点として活用したいと考えている。 ・運営委員長は今年で連続3回目の就任であるが、この間ずっとコロナの感染対策とともにあった印象である。 ・かつて中央公民館の百寿大学は4年制で、その上に大学院や研究課程などもあり最長8年間学ぶ形であったが、大学改革によってそれらはシニア大学に移行し12年前に現在の1年制になった。 ・コロナ禍で休講となる時期もあったが、歴史のある中央公民館百寿大学が今後も良い形で継続できればと思う。 ・コロナ禍においても公民館が開館している限りは「どうぞ来てください」というスタンスで開催している。 ・参加される親子は10組程度。 ・最近の傾向として月齢の小さいお子様連れの方が目立つ。 ・先日参加があった生後2か月のお子様連れの保護者は、旭川市が行っている生まれたお子様に絵本をプレゼントする事業の中で、このサロンを紹介されたという。 ・このように、市の事業なども通じて事業について知ってもらおうよう心がけている。 ・地域包括支援センターは、地域の様子を把握し皆さんの相談や支援を行っている。 ・先日、この公民館事業の「男だけの運動教室」を視察し体操にも参加した。このような取組は、市内でも珍しいのではないかと思うが、非常に良い取組と感じる。 ・こうした取組を今後も公民館と一緒に続けていきたい。 ・9月に急遽会長が交代した。 ・これまで公民館を拠点に「ふれあいサロン」などの活動を展開してきたが、引き続き地域住民のための各種取組を進めていきたい。 ・公民館での活動を通じて、会員の健康増進が図られていると思う。 ・元気で公民館に来て活動することが、健康と長生きの秘訣である。 ・(説明があったように)昨年3月に3年振りとなる芸能発表会を予定していたが、コロナのまん延防止期間終了直後ということで、5月に延期して開催した。 ・急な変更のため、残念ながら参加を辞退した団体もあったが、盛況のうちに会を終了することができた。
<p>4 その他</p>	
	<p>○ 改めて当館への要望や御意見等の発言を促すが特になし。</p>
<p>5 閉会</p>	
	<p>○ 参加への謝辞を述べ終了。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>